

道南太平洋海域スケトウダラニュース

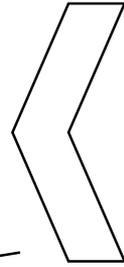
平成18年度 第5号

2007年1月24日

北海道立栽培水産試験場
調査研究部

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605



道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

調査船北洋丸（稚内水試）により実施したスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：平成19年1月14日～1月20日
- ・調査海域：渡島～日高支庁管内の水深50～500m太平洋海域

- ・分布水深は70～300m
- ・特に魚探反応の強い海域は、登別から白老沖182・183・185海区
- ・湾内は、まとまった魚群はみられない。

- 1．スケトウダラと考えられる反応は、水深70～300mと広い範囲に分布しており、登別～白老海域では沿岸の水深50mまで反応が続いていました（図1～4）。
- 2．魚探反応の強い海区は、登別から白老沖の海区182、183、185、苫小牧沖の179でした。また、渡島の190、194海区でもやや強い反応が観察されました（図1～4）。
- 3．噴火湾内ではまとまった魚群反応は見られませんでした（図1）。
- 4．海域全体の反応量は昨年同時期とほぼ同じでした。
- 5．今年度のスケトウダラニュースは本号で終了です。

ホームページアドレス

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/saibai/suketoudara.htm>

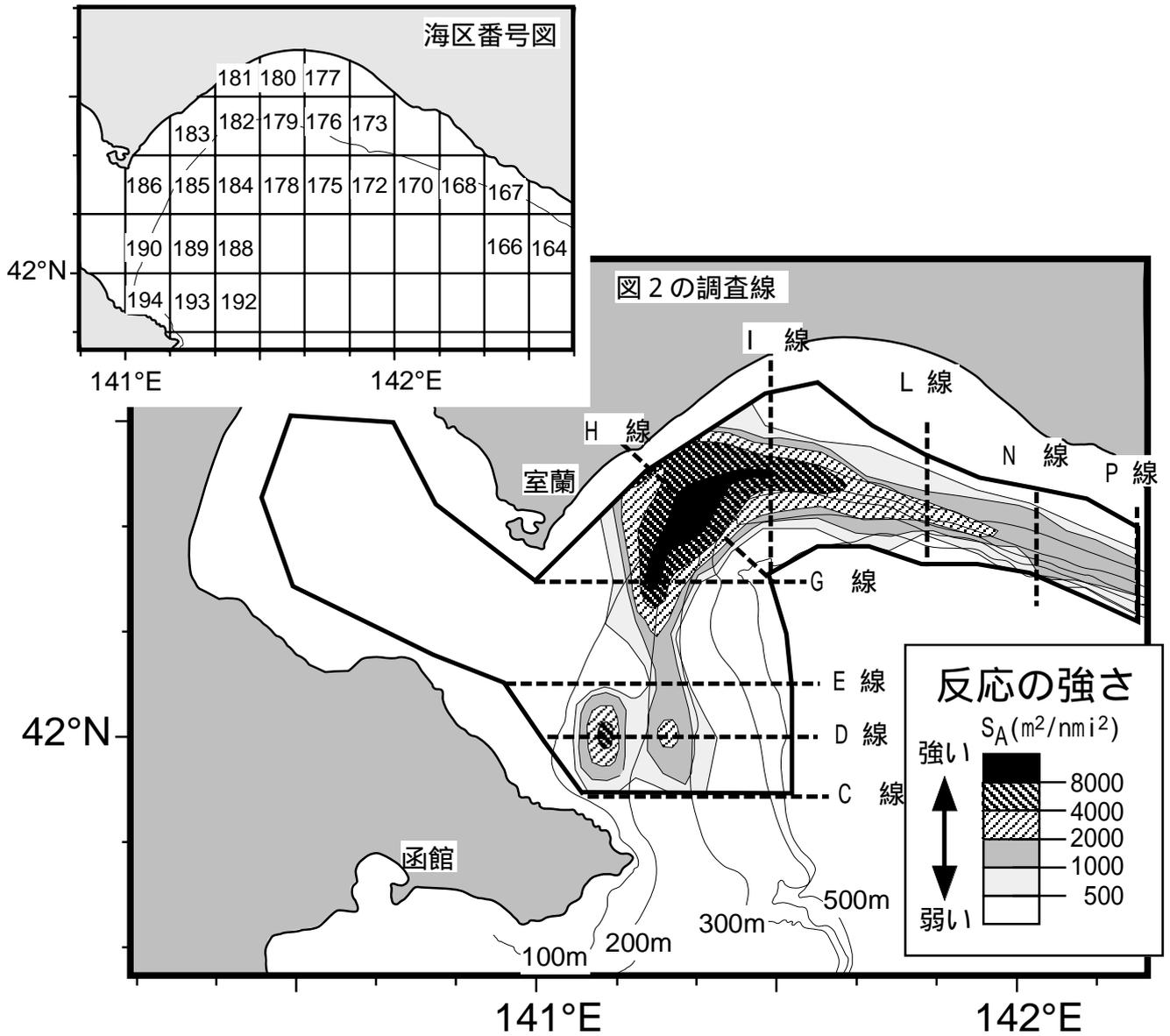


図1 . 調査海域における魚群の分布
太い黒線の中が調査範囲



図2 . 魚群の分布 (計量魚探画像)
矢印 : スケトウダラと考えられる魚群

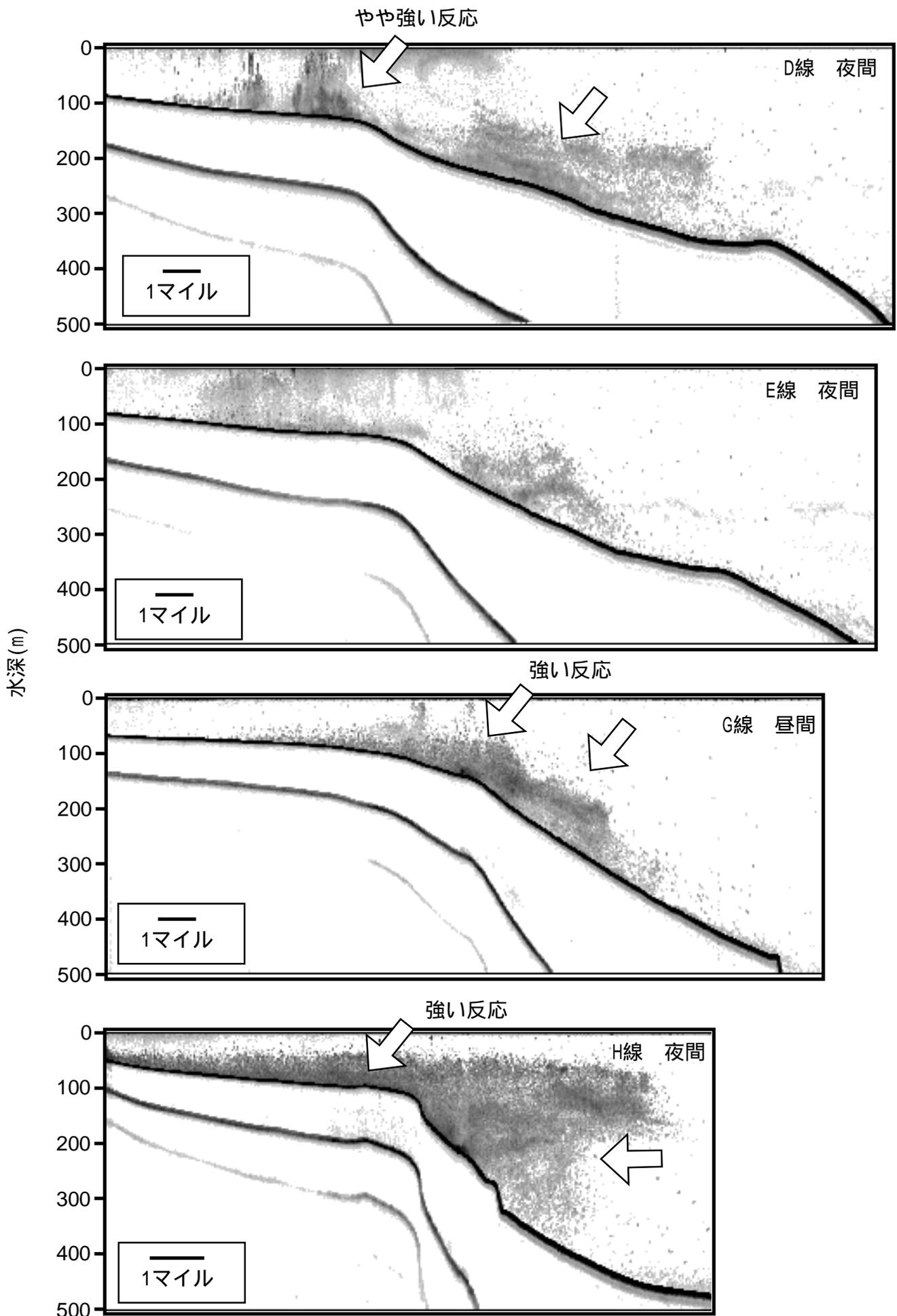


図3 . 魚群の分布 (計量魚探画像) つづき
 矢印 : スケトウダラと考えられる魚群

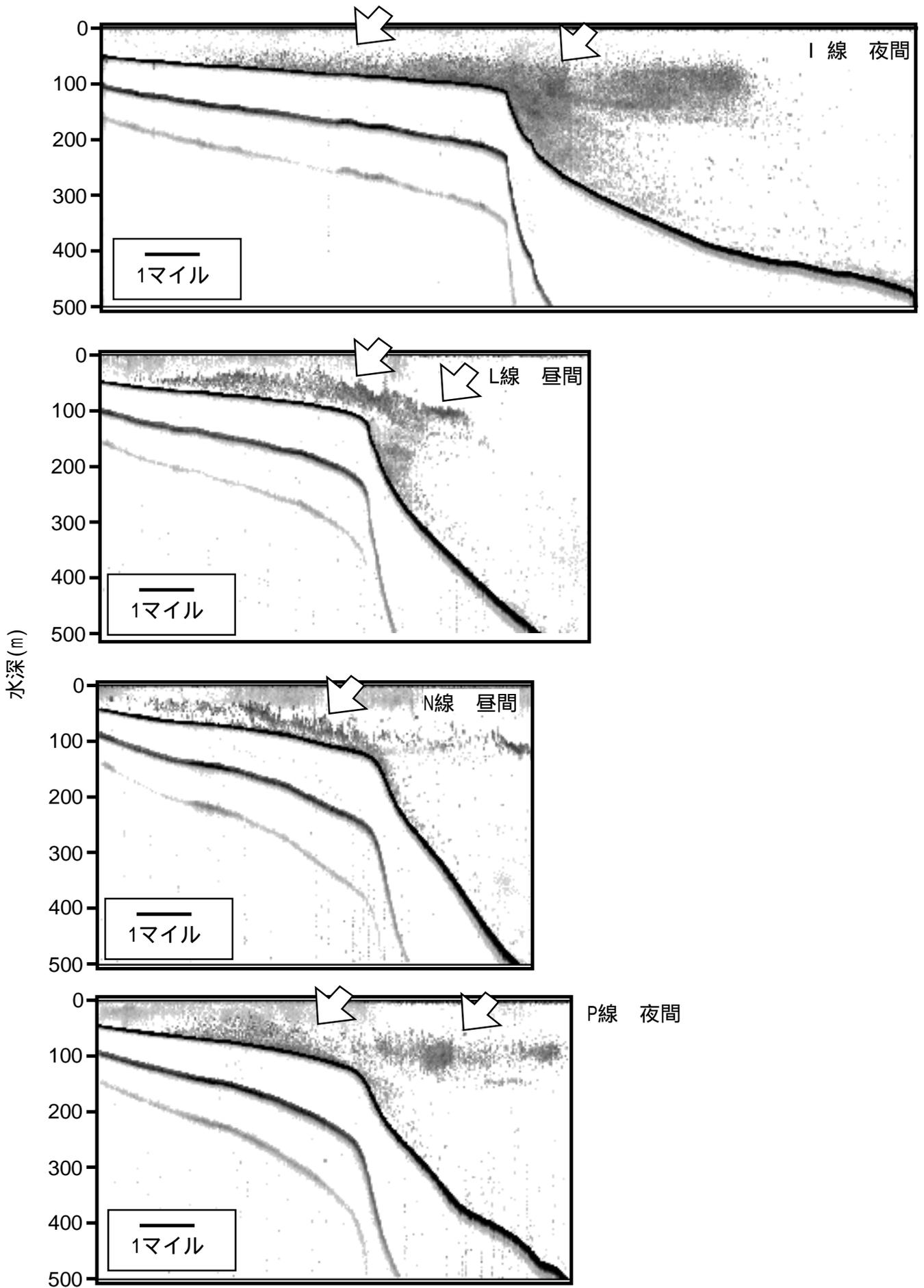


図4 . 魚群の分布 (計量魚探画像) つづき
 矢印: スケトウダラと考えられる魚群